

■ 1 2 ■ ブラジル人の皆さんには、以下の項目についてもおたずねします。

まず、現在、働いている方におたずねします。働いていない場合は問 8 2 へ。

問 7 9 あなたは現在、どのような分類の仕事をしていますか。(○は1つ)

7 9 現在の仕事の業種

	度数	%
建設業	15	2.7
製造業（自動車・オートバイ）	220	39.4
製造業（電子機器）	52	9.3
製造業（食料品）	37	6.6
製造業（製紙・紙加工）	15	2.7
製造業（水産加工業）	2	0.4
製造業（その他）	42	7.5
運輸・情報通信業	11	2.0
卸売・小売・飲食店・宿泊業	20	3.6
金融・保険業	2	0.4
介護・福祉	4	0.7
その他のサービス	29	5.2
農林漁業	5	0.9
その他	43	7.7
無回答	62	11.1
合計	559	100.0

ここからの質問項目はブラジル人に限定し尋ねた。現在の仕事の業種については、輸送機器関連の製造業に従事する者が最も多く 4 割を占める。次いで電子機器の製造業が 9 %、その他の製造業が 8 %、食料品が 7 %となっており、経済危機以降でも、ブラジル人の多くが製造業に集中している状況に大きな変化は見られない。小売、その他のサービスなどのサービスセクターには、およそ回答者の 1 割が従事している。

問 8 0 現在の勤め先（派遣・請負の会社にお勤めの方は、現在所属されている派遣会社）には、どのようにしてつかれましたか。この中からあてはまるものをすべてあげてください。

8 0 現在の仕事への就業経路

	度数	%
ブラジルにある日本の職業斡旋機関	16	2.9
ブラジルの民間の斡旋・旅行者による紹介	70	12.5
家族・親戚による紹介	87	15.6
母国での友人・知人による紹介	9	1.6
日本にいるブラジル人の知人による紹介	124	22.2
日本にいる日本人の知人による紹介	32	5.7
日本にいるブラジル以外の外国人による紹介	7	1.3
日本の職業安定所の紹介	20	3.6
日本の民間の職業紹介機関の紹介	7	1.3
現在つとめている所から誘われた	105	18.8
新聞や雑誌の求人広告を見て直接応募した	34	6.1
その他	43	7.7

現在の仕事への就業経路について尋ねた。その結果、「日本にいるブラジル人の知人による紹介」が最も多く 22%、次いで「現在勤めているところから誘われた」が 19%、「家族・親戚による紹介」が 16%、「ブラジルの民間の斡旋・旅行者による紹介」が 13%であった。

問 8 1 あなたは、現在の会社でいつから働いていますか（派遣・請負の方は、現在の派遣元での就業開始時期を教えてください）。

西暦 年 月

8 1 現在の会社での就業開始時期

	度数	%
1999 年以前	96	17.2
2000～2004 年	100	17.9
2005～2007 年	136	24.3
2008 年 1 月～6 月	26	4.7
2008 年 7 月～12 月	34	6.1
2009 年 1 月～3 月	17	3.0
2009 年 4 月～8 月	45	8.1
無回答	105	18.8
合計	559	100.0

現在の会社でいつから働いているか、回答者に対して就業開始時期を尋ねた。最も多いのが、平成 17（2005）年から平成 19（2007）年の時期であり、現在働いている人の 4 分の 1 がこの時期に就業を開始していることが分かる。平成 12（2000）年から平成 16（2004）年の時期や、平成 11（1999）年以前の時期に就業を開始した者が、全体の 3 分の 1 を超えている。平成 20（2008）年後半以降の経済危機によって仕事を失い、その後、仕事を見つけた者は、現在の有職者の 17% である。平成 21（2009）年 4 月以降に仕事を見つけた者が 8%、平成 21（2009）年の 1 月から 3 月の期間に仕事を見つけた者は 3%、平成 20（2008）年の後半に仕事を見つけた者は 6% であった。

以下からは、全ての方が、お答えください。

問 8 2 あなたはこの 1 年間に、行政・自治体・ハローワークが主催した、仕事に役立てるための訓練や自己啓発のための研修会に参加しましたか（日本語学習にかかわるものも含む）。

8 2 行政・ハローワーク主催の仕事に役立てるための研修会への参加

	全サンプル		無業者	
	度数	%	度数	%
はい	73	8.7	24	9.8
いいえ	680	80.9	183	75.0
無回答	88	10.5	37	15.2
合計	841	100.0	244	100.0

次に、ブラジル人のすべての回答者に対して、行政やハローワークが主催する仕事に役立てるための研修会（日本語教室を含む）への参加の有無について尋ねた。その結果、全サンプルでも「参加あり」という回答は8%にとどまっている。無業者に限定しても1割に満たない数字である。こうした研修会については、今後も周知を徹底していくことが必要であろう。

問83 あなた自身の1年前の1か月あたりの平均的な収入（税込み）についておうかがいします。ボーナス等が支給されていた場合は、それらもこの中に含めてください。（○は1つ）

8.3 1年前の個人月収と現在の個人月収の比較

	1年前		現在	
	度数	%	度数	%
なし	58	6.9	92	10.9
5万円未満	4	0.5	12	1.4
5-7万円	11	1.3	20	2.4
8-10万円	19	2.3	36	4.3
11-13万円	51	6.1	109	13.0
14-16万円	82	9.8	117	13.9
17-20万円	103	12.2	115	13.7
21-25万円	124	14.7	134	15.9
26-30万円	114	13.6	60	7.1
31-35万円	95	11.3	35	4.2
36-40万円	54	6.4	13	1.5
40万円以上	39	4.6	12	1.4
無回答	87	10.3	86	10.3
合計	841	100.0	841	100.0

回答者に対して、1年前の1か月当たりの個人収入について尋ねた。表では、1年前の月収と現在の月収とを比較している。まず1年前では「月収がない」という回答は7%であるが、現在では11%に増加している。同様に、1年前と比較して月収10万円台の比率が増加し、26万円以上の比率が明らかに減少している。それぞれ平均値を計算すると、1年前の月収の平均値が22万円であったものが、現在では16万円に低下している。

ここからは、日本で就業していた、ひとつ前の仕事についてうかがいます。

問 8 4 あなたが前の仕事をやめたのはいつですか。

西暦 年 月

8 4 1つ前の仕事をやめた時期

	度数	%
1999年以前	81	9.6
2000～2004年	119	14.1
2005～2006年	83	9.9
2007年	74	8.8
2008年1月～6月	31	3.7
2008年7月～12月	98	11.7
2009年1月～3月	122	14.5
2009年4月以降	60	7.1
無回答	173	20.6
合計	841	100.0

次に、日本で就業していたひとつ前の仕事について尋ねた。まず、その仕事をやめた時期では、平成 20（2008）年以降に注目すると、平成 20（2008）年後半以降に1つ前の仕事をやめた人が顕著に多い。平成 20（2008）年後半にやめた人が全体の12%を占める。そして、平成 21（2009）年1月から3月の3か月間という短期間に前職を離職した人が多く、15%にもものぼる。平成 21（2009）年4月以降では、それ以前と比べると離職率が低下しているようだが、それでも4月以降に7%が離職している。明らかに、平成 20（2008）年後半以降の急激な景気後退がブラジル人の雇用に影響を及ぼしていることが分かる。

問 8 5 あなたが前の仕事をやめた最も大きな理由は何ですか。（○は1つ）。

8 5 離職理由

	全サンプル		2008年以降の離職者	
	度数	%	度数	%
雇用期間や契約期間の満了	57	6.8	33	10.6
解雇	187	22.2	156	50.2
職場が倒産した	43	5.1	23	7.4
身体上の事情で働けない	28	3.3	9	2.9
定年など退職年齢になった	3	0.4	0	0.0
仕事や労働条件等が不満	131	15.6	18	5.8
開業や転職	22	2.6	1	0.3
家族の介護や出産・育児	46	5.5	2	0.6
その他	165	19.6	56	18.0
無回答	159	18.9	13	4.2
合計	841	100.0	311	100.0

前職の離職理由について尋ねた。全サンプルを対象にみると、最も多いのが「解雇」で22%、次いで「仕事や労働条件等が不満」の16%である。「その他」も多く、2割を占めている。雇用期間や契約期間の満了、解雇、職場の倒産を非自発的な離職ととらえると、

全サンプルでは非自発的な離職が離職理由の全体の3分の1を占め、それ以外の離職が3分の2を占めている。

他方で、平成20(2008)年以降に離職した者に分析を限定すると、解雇が突出して多く、離職理由の半数を占める。そして、雇用期間や契約期間の満了と職場の倒産をさらに加えると、非自発的な離職が離職理由の7割近くを占めていることが分かる。平成19(2007)年以前においては、日系ブラジル人の離職は自発的なものが多いが、平成20(2008)年以降のものについては大半が非自発的な理由によることが理解できる。

問86 あなたの前のお仕事は、次のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

86 前職の従業上の地位

	度数	%
直接雇用(正社員)	71	8.4
直接雇用(臨時雇用・パート)	85	10.1
間接雇用(派遣・請負)	532	63.3
自営業主	7	0.8
家族従業者	3	0.4
失業	3	0.4
非労働力	5	0.6
無回答	135	16.1
合計	841	100.0

前職の従業上の地位を尋ねると、回答者の6割以上が派遣・請負などの間接雇用に従事していることが分かる。正社員の直接雇用は1割にも満たない。

問87 あなたの前の仕事は、どのような分類の仕事ですか。(○は1つ)。

87 前職の業種

	度数	%
建設業	18	2.6
製造業(自動車・オートバイ)	376	53.9
製造業(電子機器)	95	13.6
製造業(食料品)	29	4.2
製造業(製紙・紙加工)	14	2.0
製造業(水産加工業)	60	8.6
製造業(その他)	6	0.9
運輸・情報通信業	18	2.6
金融・保険業	23	3.3
介護・福祉	6	0.9
その他のサービス	44	6.3
無回答	9	1.3
合計	698	100.0

前職の業種、職種、企業規模について尋ねた。これらの表については、従業上の地位について、何らかの仕事に従事していると回答した人に限って集計した。

業種については、現在の職業と同様に、輸送機器関係の製造業に従事する者が最も多い。ついで、電子機器の製造業となっている。

問 8 8 あなたの前の仕事の具体的な内容について教えてください。(○は1つ)。

8 8 前職の職種

	度数	%
技能労働者	335	48.0
一般作業員	60	8.6
販売的職業	22	3.2
サービスの職業	12	1.7
専門的職業	15	2.1
管理的職業	2	0.3
事務的職業	15	2.1
農林漁業	6	0.9
その他	203	29.1
無回答	28	4.0
合計	698	100.0

前職の職種では、技能労働、一般作業という回答で半数を超えている。これら以外の職業に従事しているという回答は非常に少ない。販売・サービスで5%、専門・管理と事務を合わせても同様に5%にすぎない。

問 8 9 あなたの前の仕事で、従業員（働いている人）は、会社全体で何人くらいでしたか。派遣・請負の方は派遣先の会社の従業員数についてお答えください。(○は1つ)

8 9 前職の従業員数

	度数	%
1人	8	1.1
2-9人	100	14.3
10-29人	147	21.1
30-99人	154	22.1
100-299人	135	19.3
300-999人	85	12.2
1000人以上	40	5.7
官公庁	1	0.1
無回答	28	4.0
合計	698	100.0

前職の従業員数では、30~99人が最も多く22%、ついで10~29人で21%となっている。全体的にみると、29人以下の小規模企業で37%、30人から299人の中規模企業で全体の4割を占めている。300人以上の大企業で働く者は少なく、全体の2割以下にすぎない。